

PZ980 取付・取扱説明書

3wayシャワーヘッド(ワンストップ付)

■ 取り付け前・ご使用前に、この説明書を必ずお読みのうえ、正しく取り付け・ご使用ください。

材質：樹脂、合成ゴム、黄銅



4 952490 174593

株式会社 **KVK**

ホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

製
造
印

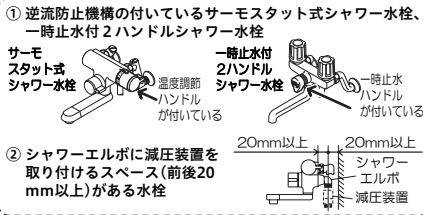
この説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

お買い上げ前にご確認ください

【取り付け対象商品】 逆止弁付のシャワー水栓が対象となります。(ただし定量止水水栓・自閉式水栓・シングルレバー式水栓・ソーラー用水栓には取り付けできません)
このシャワーは、**今お使いの水栓が下記の条件を満たしていないと取り付けできません【使用条件】 使用水圧：50.0kPa～0.75MPa 最高使用温度：60℃**

KVK製の水栓をお使いの場合

下記の①と②の条件を満たしている水栓



→ **現在お使いの水栓のシャワーエルボが樹脂製の場合は、金属製シャワーエルボに交換する必要があります。**

現在お使いの水栓の確認	お取り付けについて
金属製シャワーエルボ 又はエルボがない場合	そのまま取り付け可能です。
ねじ込み式の樹脂製 シャワーエルボの場合	金属製シャワーエルボが必要です。 別売 PZ76をお求めください。
ナット式の樹脂製 シャワーエルボの場合	金属製シャワーエルボが必要です。 別売 PZKF66Nをお求めください。
シャワーホースが 外径小径13.5mmタイプ (エルボの有り、なしは無関係)	減圧装置部にアタッチメントが必要です。 別売PZ444とPZKF146をお求めください。

KVK製以外の水栓をお使いの場合

左記の①と②の条件を満たし、金属製シャワーエルボ、又はシャワーエルボがない水栓が対象となります。樹脂製シャワーエルボの場合はお取り付けできません。

別売のアタッチメントが必要です(シャワーヘッド部、減圧装置部に必要)
(メーカー別アタッチメント対応表)

	SAN-EI・KAKUDA製	INAX製	MYM製	TOTO製太ホース
シャワーヘッド部アタッチメント	PZKF149-1	PZKF149-2	PZKF149-3	PZKF149-1
減圧装置部アタッチメント		PZKF146とPZ444		PZKF146-3とPZ443

※ TOTOの細ホースタイプには接続できません

【警告】2ハンドルシャワーにワンストップシャワーヘッドを取り付ける場合、シャワー止ボタンで一時止水解除をした際に圧力変化により2ハンドルで設定した湯温が出ないことがありますので、手で湯温を確かめてからお使いください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
現在ご使用のシャワーヘッドから3wayシャワーヘッドへ取り替える場合は、減圧装置の使用により現在ご使用のシャワーよりも吐水量が減ることがあります。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結びつく可能性があります。
 - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結びつく可能性があります。
 - お守りいただく事項の種類を次の給表示で区分し、説明しています。
 - この給表示は、**「禁止」**の内容です
 - この給表示は、**「分解禁止」**の内容です
 - この給表示は、**必ず実行していただく「強制」**の内容です
- やけど、漏水をした場合の処置
 やけどをした場合は、すぐ、その箇所を水で流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。
 漏水した場合は元栓、または止水栓を開けてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。
- KVK修理受付センター TEL ☎ 120-474-161
 上記フリーダイヤルは携帯電話からはご利用になれません。携帯電話からは058-234-8946をご利用ください。
 受付時間/平日 9:00～18:30 土・日・祝日 9:00～17:00

警告

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。

器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

湯側・水側に逆流防止機構の付いていないシャワー水栓金具(例：一時止水機能のない2ハンドル式やシングルレバー式)及び定量止水付、自閉式水栓、ソーラー2ハンドル式シャワー水栓金具には取り付けしないでください。

水栓金具から逆流するおそれがあります。

警告

シャワーをお使いになる前に、必ず手で湯温かどうかが確かめてください。

確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また吐水口とシャワーの切替時や、シャワー吐水状態の切替時に、吐水温度が高くなることがありますのでご注意ください。

警告

シャワー止ボタンでストップ解除をしてシャワーをお使いになる時は必ず手で湯温かどうかが確かめてください。

確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また吐水口とシャワーの切替時や、シャワー吐水状態の切替時に、吐水温度が高くなることがありますのでご注意ください。

禁止

ムーブシャワーは顔への使用はおやめください。

直接目や耳などに当たると、けがをするおそれがあります。

禁止

シャワーには60℃以上の熱湯を流させないでください。

通水させると器具が破損し、やけどをするおそれがあります。

注意

湯側・水側に逆流防止機構の付いていないシャワー水栓金具(例：一時止水機能のない2ハンドル式やシングルレバー式)及び定量止水付、自閉式水栓、ソーラー2ハンドル式シャワー水栓金具には取り付けしないでください。

水栓金具から逆流するおそれがあります。

注意

めっき部品は、ぶつたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。

めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。

注意

樹脂製のシャワーエルボが付いている場合、金属製のシャワーエルボに必ず取り替えてください。

シャワーエルボが破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

使用後は、必ずシャワー止ボタンを出の状態にして、水栓金具本体のハンドルで止水してください。

1. 出の状態
2. 止水

水栓金具本体のハンドルで止水しないと器具が破損するおそれがあります。

注意

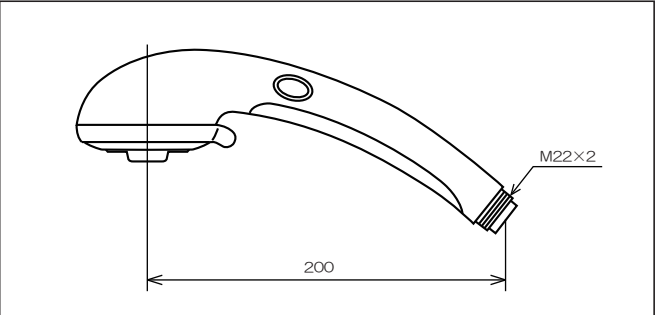
凍結が予想される際は、シャワー止ボタンを出の状態にして、水栓金具の水抜き手順に従って水抜きを行ってください。

水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

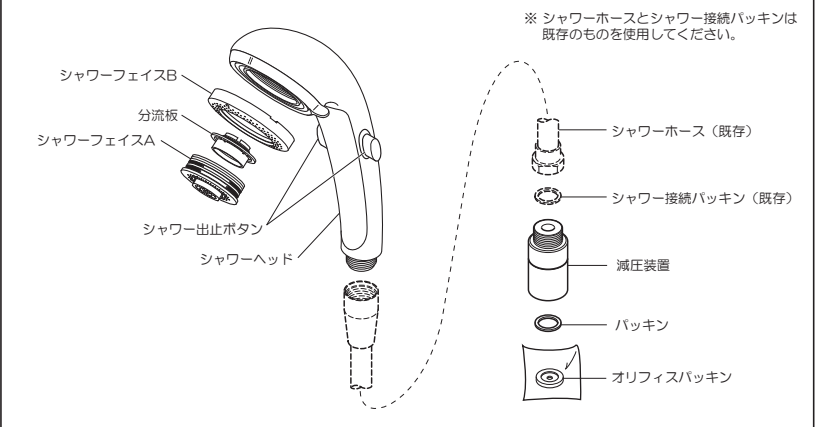
使用上のご注意

- ① 現在お使いのシャワーよりも、シャワー吐水量は少なくなります。
- ② 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。

寸法図



分解図



取り付け前のご確認

取り付ける水栓金具の確認

現在お使いの水栓金具を確認してください。

樹脂製シャワーエルボがついた水栓金具

樹脂製

金属製シャワーエルボがついた水栓金具

金属製

シャワー取り付けねじがついた水栓金具(シャワーエルボなし)

シャワー取り付けねじ

KVK製の水栓

取り付け手順 1・2

お取り付けできません

KVK製以外の水栓

取り付けできません

KVK製の水栓

取り付け手順 2

「自永」系
(外径小径13.5mm)
タイプは手順3へ

KVK製以外の水栓

取り付け手順 3

(KVK以外の水栓に)
取り付ける場合へ

取り付け手順 1

KVK専用の金属シャワーエルボへの取り替え

- 水栓金具に付いているシャワーホース及び、樹脂製のシャワーエルボを取りはずします。
- 別売の金属製シャワーエルボ(ねじ込み式の場合PZ76・ナット式の場合PZKF66N)を取り付けます。

(ねじ込み式の場合)
ねじを締め付けた所から、矢印の範囲で回転する位置まで戻しておきます。

(ナット式の場合)
締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。

【お願い】 締め付ける際は傷が付かないよう、あて布等をしてください。

ねじ込み式金属製シャワーエルボ PZ76(別売)の取り付け

① シャワーエルボを左へ回しはせず

② 取り付け

ナット式金属製シャワーエルボ PZKF66N(別売)の取り付け

① ナットをはずす

② 取り付け

イラストは参考図です

取り付け手順 2

シャワーヘッドの取り付け

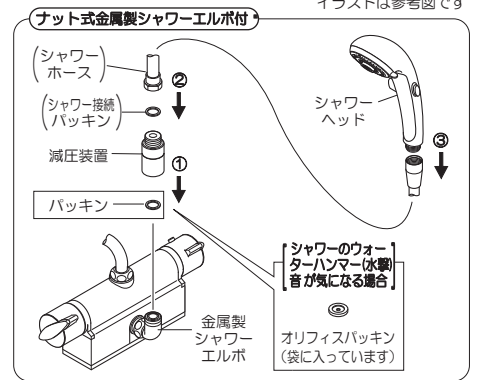
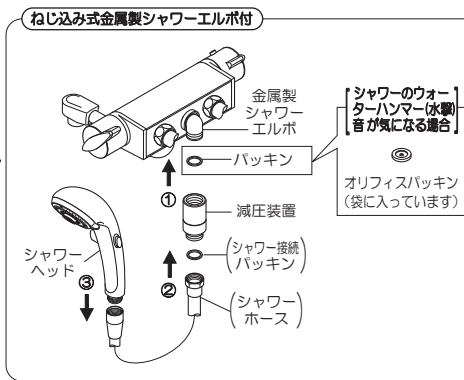
シャワーエルボに減圧装置、シャワーヘッドを下記の手順で取り付けます。

① シャワーエルボに減圧装置を取り付けます。締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。

- 【お願い】 締め付ける際は傷が付かないよう、あて布等をしてください。
(シャワーエルボがない水栓の場合)
シャワーエルボは必要ありません。ねじの部分へ直接減圧装置を取り付けてください。
② 減圧装置に既存のシャワーホースを接続します。
【お願い】 シャワーホースとシャワー接続パッキンは既存のものを使用してください。
③ シャワーヘッドを取り付けます。
④ 通水して、各接続部に水漏れがないことを確認してください。

【通水後、シャワーのウォーターハンマー(水撃)音が気になる場合】

- ①の手順の際パッキンの代わりに、同梱の「オリフィスパッキン」をお使いください。ウォーターハンマー(水撃)音を低減します。
(オリフィスパッキンを使用すると、シャワー吐水量は少なくなる場合があります。)



取り付け手順 3

KVK以外の水栓に取り付ける場合 金属製シャワーエルボ、又はシャワーエルボがない水栓が対象です。

現在お使いの水栓のメーカーを確認してください。
メーカーにより、使用する別売のアタッチメントが異なります。

<取り付け手順>

- 現在お使いのシャワーホースを水栓本体からはずします。
- シャワー接続部に各メーカー対応のアタッチメント・パッキンを取り付けます。
- アタッチメントに減圧装置を取り付けます。締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。
【お願い】 締め付ける際は傷が付かないよう、あて布等をしてください。
- 減圧装置に各メーカー対応のアタッチメント・パッキンを取り付けます。
- アタッチメントに既存のシャワーホースを取り付けます。
【お願い】 シャワーホースとシャワー接続パッキンは既存のものを使用してください。
- シャワーホースに各メーカー対応のアタッチメントを取り付けます。
- アタッチメントにシャワーヘッドを取り付けます。
- 通水して、各接続部に水漏れがないことを確認してください。

メーカー別アタッチメント対応表 (取り付け手順別)

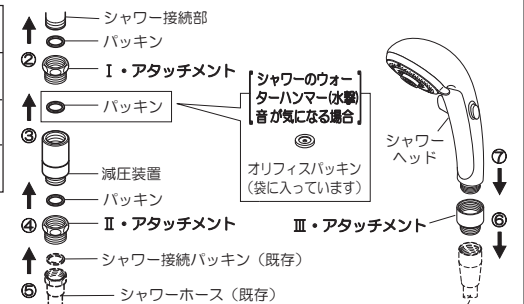
	SAN-EI・KAKUDA製	INAX製	MYM製	TOTO製 太ホース	KVK製旧ホース 径φ13.5mm
I アタッチメント (手順②で使用)		PZKF146		PZKF146-3	PZKF146
II アタッチメント (手順④で使用)		PZ444		PZ443	PZ444
III アタッチメント (手順⑥で使用)	PZKF149-1	PZKF149-2	PZKF149-3	PZKF149-1	不要

※TOTO製細ホースタイプには取り付けできません。

【△注意】 接続の際、パッキンを必ずはめ込んでください。はめ込まないと漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【通水後、シャワーのウォーターハンマー(水撃)音が気になる場合】
③の手順の際パッキンの代わりに、同梱の「オリフィスパッキン」をお使いください。ウォーターハンマー(水撃)音を低減します。
(オリフィスパッキンを使用すると、シャワー吐水量は少なくなる場合があります。)

<取り付け手順②～⑦>



ご使用方法

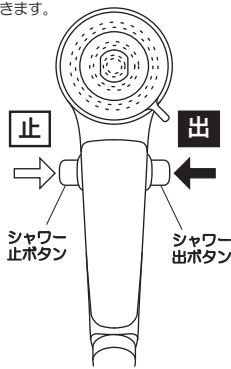
一時止水方法

シャワー使用中、シャワー出止ボタンにて一時的に止水できます。

【△警告】 シャワーの出し始めは湯温が変動する場合がありますので、手で湯温を確かめてからお使いください。また、一時止水使用後にシャワーをお使いになる場合は必ず手で湯温がどうかを確かめてください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをされるおそれがあります。

【△注意】
・シャワー出止ボタンはゆっくり操作してください。急な操作はウォーターハンマー(水撃)音が発生し、配管からの漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
・使用後は、必ずシャワー出止ボタンを吐水状態にして、水栓金具本体のハンドルで止水してください。

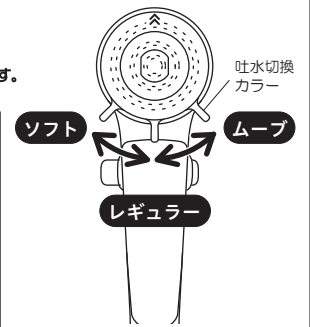
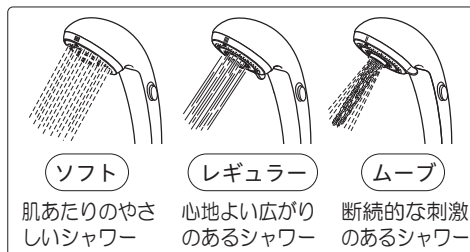
【止水後の水滴について】
シャワーを止めた直後、シャワーヘッドから水滴が落ちることがありますが、これはシャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。シャワー止水後は、シャワーヘッドを振って水を切ってください。



吐水切換方法

3種類の吐水が楽しめます。お好みの吐水表示に合わせて吐水切換カラーをまわして、吐水切換してください。

【△警告】 シャワーには60℃以上の熱湯を通水させないでください。通水させると器具が破損し、やけどをされるおそれがあります。

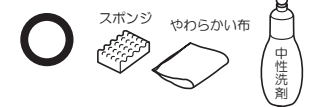


日常のお手入れ・保守

お手入れ方法

【軽い汚れの場合】
汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

【ひどい汚れの場合】
中性洗剤をぬるま湯でうすめて、やわらかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭き取ります。



【使ってはいけないもの】
水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキスが入るおそれがありますので、使わないでください。



【お願い】
メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

シャワーフェイスの清掃方法

シャワーフェイスが詰まった場合は、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、清掃してください。

- シャワーフェイスAの2面幅に工具をかけ、はずす方向に回して取りはずします。
- 分流板をはずします。
- シャワーフェイスBを取りはずします。
- シャワーフェイスの穴をブラシで水洗いします。



【お願い】 工具を使用する場合は傷をつけないようにしてください。

【組み立て時の注意】

- 分流板をシャワーヘッドにはめます。
- シャワーフェイスB、シャワーフェイスAの順に組み立てます。

